

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）  
分担研究報告書

中性脂肪蓄積心筋血管症の重症度分類

研究分担者 井手 友美 国立大学法人九州大学 大学院医学研究院 准教授

研究要旨

中性脂肪蓄積心筋血管症は、新規疾患概念である。  
診断の重症度スコアを検討し、TGCV 重症度分類検討委員会において、TGCV 重症度分類を策定した。

A. 研究目的

中性脂肪蓄積心筋血管症(Triglyceride deposit cardiomyovasculopathy, TGCV)は、研究代表者が所属機関附属病院の重症心不全患者より発見した新規疾患概念である(Hirano K, et al. N Engl J Med. 2008)。当該年度は、診断基準、重症度スコアについて検討し、今後の診療体制構築を行った。

B. 研究方法

わが国の指定難病の要件にてらして、TGCV 研究班として TGCV 重症度分類検討委員会において、TGCV 重症度分類について検討を行った。  
現在のわが国の指定難病は333疾患あり、重症者には医療費助成が行われる。それらのレビューを行い、当該疾患についてその病態や治療法が確立していないこと、診断基準が客観的データをもって確立していること、などを踏まえて、その重症度スコアについて検討を行った。

(倫理面への配慮)

論文・学会報告をもとに検討したことか

ら倫理面の問題は存在しない。

C. 研究結果

TGCV重症度分類

中等症以上を助成の対象とする

軽症	TGCVが確認される、またはTGCVを疑わせる検査所見があるが、明らかな臓器機能障害を認めない。
中等症	TGCVによる症状または臓器機能障害を認める。
重症	以下のいずれかを満たすもの 1. TGCVを原因とする入院歴がある。 2. 原発性TGCVである。

臓器機能障害：心筋症・心不全、不整脈、冠動脈病変、その他の血管病変、糖尿病、慢性腎不全、骨格筋障害

※/日※

上記のとおり、TGCV 重症度分類を最終化した。

D. 考察

TGCV は様々な病型があることが想定され、それらをふまえて重症度分類を策定した。今後、症例の蓄積をふまえて、エビデンスを蓄積し、TGCV の新たな治療法の開発につなげていくことが期待される。

E. 結論

TGCV の重症度分類を策定した。

F. 健康危険情報

該当せず

G. 研究発表

1. 論文発表

1. 井手友美, 筒井裕之. <心不全  
>JROADHF. 循環器内科  
88(4):420-424, 2020
2. Enzan N, Matsushima S, Ide T,  
Kaku H, Tohyama T, Funakoshi K,  
Higo T, Tsutsui H. Clinical  
characteristics and contemporary  
management of patients with  
cardiomyopathies in Japan -  
Report from a national registry of  
clinical personal records. Circ Rep  
3(3):142-152, 2021

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得  
該当無し
2. 実用新案登録  
該当無し
3. その他  
該当無し